2022年10月21日
文化審議会国語分科会
国語課題小委員会

ローマ字のつづり方について：言語学の観点から

Peter Backhaus
Waseda University

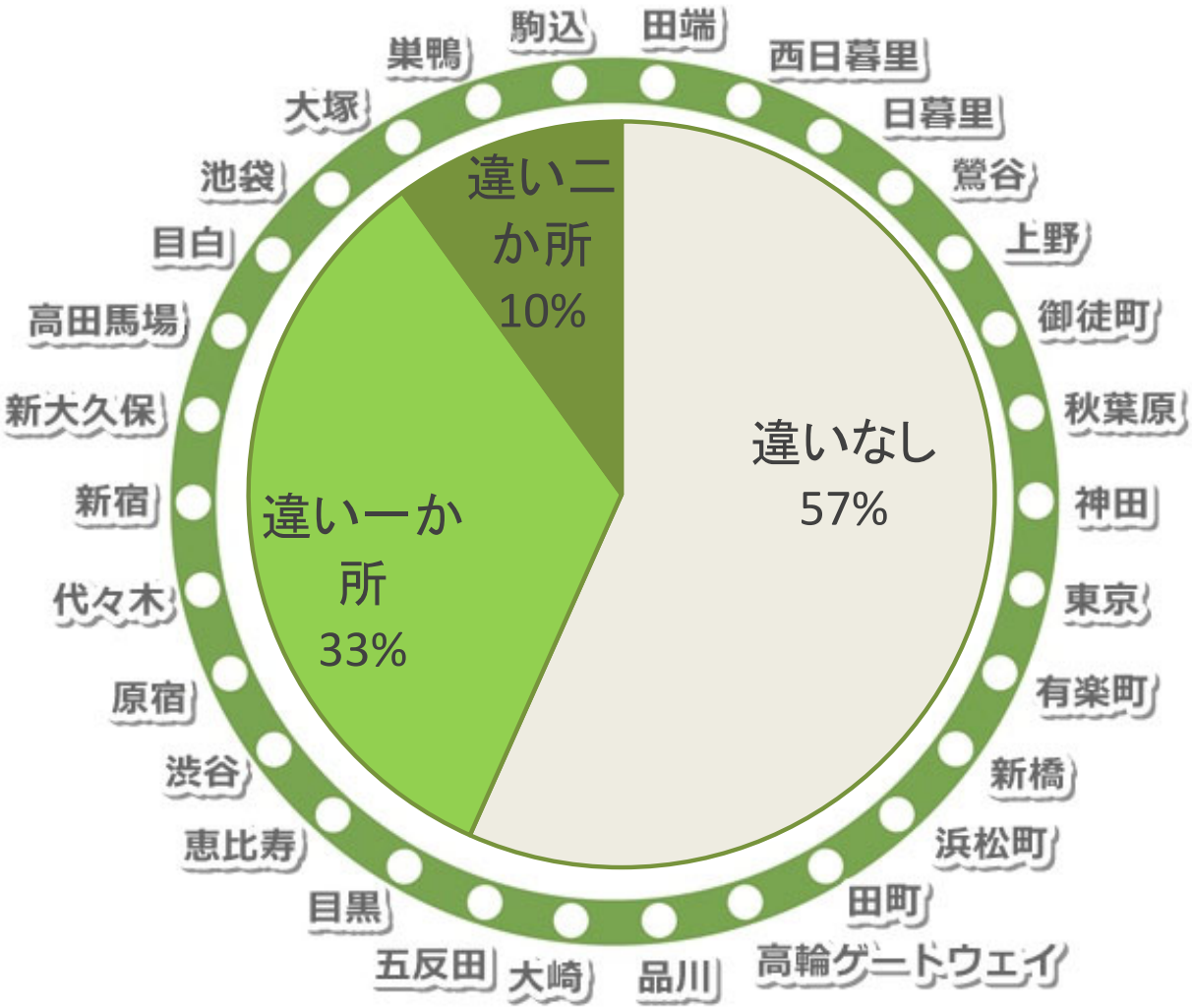
現状

- 漢字・仮名と違って、補助的な役割
- 訓令式とヘボン式の混在
  - 訓令：日本人向け
  - ヘボン：外国人向け
- 主な違い：

  し（じ、しゃ、じゃ等）、ち、つ、ふ
  - 訓令：si (zi, sya, zya), ti, tu, hu
  - ヘボン：shi (ji, sha, ja), chi, tsu, fu

例：山手線29駅名

東京	Tokyo
有楽町	Yūrakuchō/Yūrakutyō
新橋	Shinbashi/Sinbasi
浜松町	Hamamatsuchō/Hamamatutyō
田町	Tamachi/Tamati
高輪ゲートウェイ	Takanawa Gateway
品川	Shinagawa/Sinagawa
大崎	Ōsaki
五反田	Gotanda
目黒	Meguro
恵比寿	Ebisu
渋谷	Shibuya/Sibuya
原宿	Harajuku/Harazyuku
代々木	Yoyogi
新宿	Shinjuku/Sinzyuku
新大久保	Shin-Ōkubo/Sin-Ōkubo
高田場	Takadanobaba
目白	Mejiro/Meziro
池袋	Ikebukuro
大塚	Ōtsuka/Ōtuka
巣鴨	Sugamo
駒込	Komagome
田端	Tabata
西日暮里	Nishi-Nippori/Nisi-Nippori
日暮里	Nippori
鶯谷	Sugamo
上野	Ueno
御徒町	Okachimachi/Okatimati
秋葉原	Akihabara
神田	Kanda



“混合”式の問題

- 例：
  「新宿」のローマ字表記
- 出典：
  Google (2022年10月現在)
  （“再検索”結果込み）
- 検索項目（ヒット数）：
  - “Shinjuku” (59,100,000)
  - “Sinzyuku” (213)
  - “Sindyuku” (37)
  - “Sinjuku” (307)
  - “Shinzyuku” (289)
  - “Shindyuku” (286)
  - “Shinjyuku” (331)

＝ヘボン・訓令・日本式の混合

➢ ローマ字で表記する場合に、例えば「南アルプス市」のは、アルプスだけ英語の「MINAMI-ALPS」になっている。あるいは「パーティー会場」を「PARTY KAIJYO」と表記するような場合がある。これはローマ字の問題でもありこれは外来語の問題でもあるが、その辺りの実態を踏まえた上で、一番混乱がない在り方について、ある程度のガイドラインのようなものがあるといいのではないか。

正書法の深度

- 「浅い」正書法（”shallow orthography”）
  - 理想：文字と音素との関係が一対一
  - やや規則的
  - 例：スペイン語
- 「深い」正書法（”deep orthography”）
  - 語源や形態論的要素に配慮
  - やや不規則的
  - 例：英語（ghoti=fish）

laugh	f
women	i
nation	sh

Coulmas, Florian. 1989. *The Writing Systems of the World*. Oxford: Blackwell (p.169)

日本語ローマ字の深度

- ヘボン式

  文字と音素が一致*

  – /s/ : <s>, /ʃ/ : <sh>

  – /t/ : <t>, /ts/ : <ts>

  – /h/ /ç/: <h>, /ɸ/ : <f>

- 訓令式

  形態論的な規則性を重視

  – さ行：全箇所が<s>（濁音が<z>）

  – た行：全箇所が<t>（濁音が<d>）

  – は行：全箇所が<h>

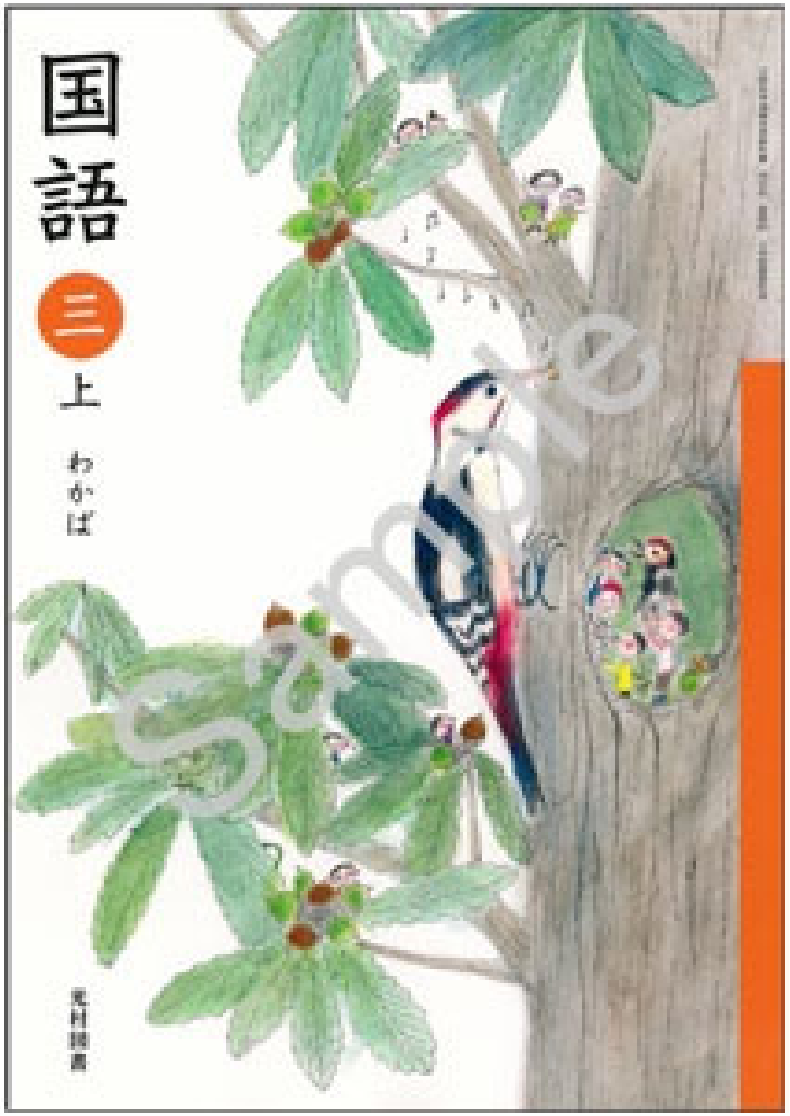
*/ / = 音素（phoneme）
< > = 書記素（grapheme）

例:立つ

- た tatanai
- ち tatimasu
- つ tatu
- て tate
- と tatō

教科書の例

A上①



言葉 ローマ字

日本語は，ひらがな・かたかな・漢字のほかに，アルファベットのいくつかを使って，書き表すことができます。このような書き表し方を，ローマ字表記といいます。

■アルファベット

大文字　小文字

A a　B b　C c　D d

E e　F f　G g　H h

I i　J j　K k　L l

M m　N n　O o　P p

Q q　R r　S s　T t

U u　V v　W w　X x

Y y　Z z

※この順番は一つのれいをしめしたもので，決まりはありません。

ローマ字表記は，わたしたちの身の回りのさまざまなところで使われています。

アルファベット

ローマ字表

A上②

■ローマ字

大文字／小文字		ア段 A/a	イ段 I/i	ウ段 U/u	エ段 E/e	オ段 O/o			
ア行		あ a	い i	う u	え e	お o			
カ行	K/k	か ka	き ki	く ku	け ke	こ ko	きゃ kya	きゅ kyu	きょ kyo
サ行	S/s	さ sa	し si [shi]	す su	せ se	そ so	しゃ sya [sha]	しゅ syu [shu]	しょ syo [sho]
タ行	T/t	た ta	ち ti [chi]	つ tu [tsu]	て te	と to	ちゃ tya [cha]	ちゅ tyu [chu]	ちょ tyo [cho]
ナ行	N/n	な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no	にゃ nya	にゅ nyu	にょ nyo
ハ行	H/h	は ha	ひ hi	ふ hu [fu]	へ he	ほ ho	ひゃ hya	ひゅ hyu	ひょ hyo
マ行	M/m	ま ma	み mi	む mu	め me	も mo	みゃ mya	みゅ myu	みょ myo
ヤ行	Y/y	や ya	(い) (i)	ゆ yu	(え) (e)	よ yo			
ラ行	R/r	ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro	りゃ rya	りゅ ryu	りょ ryo
ワ行	W/w	わ wa	(い) (i)	(う) (u)	(え) (e)	を (o) [wo]			
ン		ん n							
ガ行	G/g	が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go	ぎゃ gya	ぎゅ gyu	ぎょ gyo
ザ行	Z/z	ざ za	じ zi [ji]	ず zu	ぜ ze	ぞ zo	じゃ zya [ja]	じゅ zyu [ju]	じょ zyo [jo]
ダ行	D/d	だ da	ぢ (zi) [di]	づ (zu) [du]	で de	ど do	ぢゃ (zya) [dya]	ぢゅ (zyu) [dyu]	ぢょ (zyo) [dyo]
バ行	B/b	ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo	びゃ bya	びゅ byu	びょ byo
パ行	P/p	ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po	ぴゃ pya	ぴゅ pyu	ぴょ pyo

[　] の中の書き方も使うことができる。（　）は，かさねて出してあるもの。

127(2)

1 127ページのローマ字の表を見てみましょう。

ア行の音は，１字で表されます。

a　i　u　e　o
あ　い　う　え　お

カ行から下の音は，２字いじょうが組み合わされています。表をたてに見てみましょう。ア段の音には，全部「a」がついています。

ka　sa　ta　na　ha　ma　ya　ra　wa
か　さ　た　な　は　ま　や　ら　わ

次に，横に見てみましょう。カ行の音には，全部「k」がついています。

ka　ki　ku　ke　ko
か　き　く　け　こ

▶ほかの段や行は，どのように表しているでしょう。

2 ローマ字には，次のような決まりがあります。

①「きゃ」「きゅ」「きょ」などの音は，「kya」「kyu」「kyo」のように，３字で書き表します。

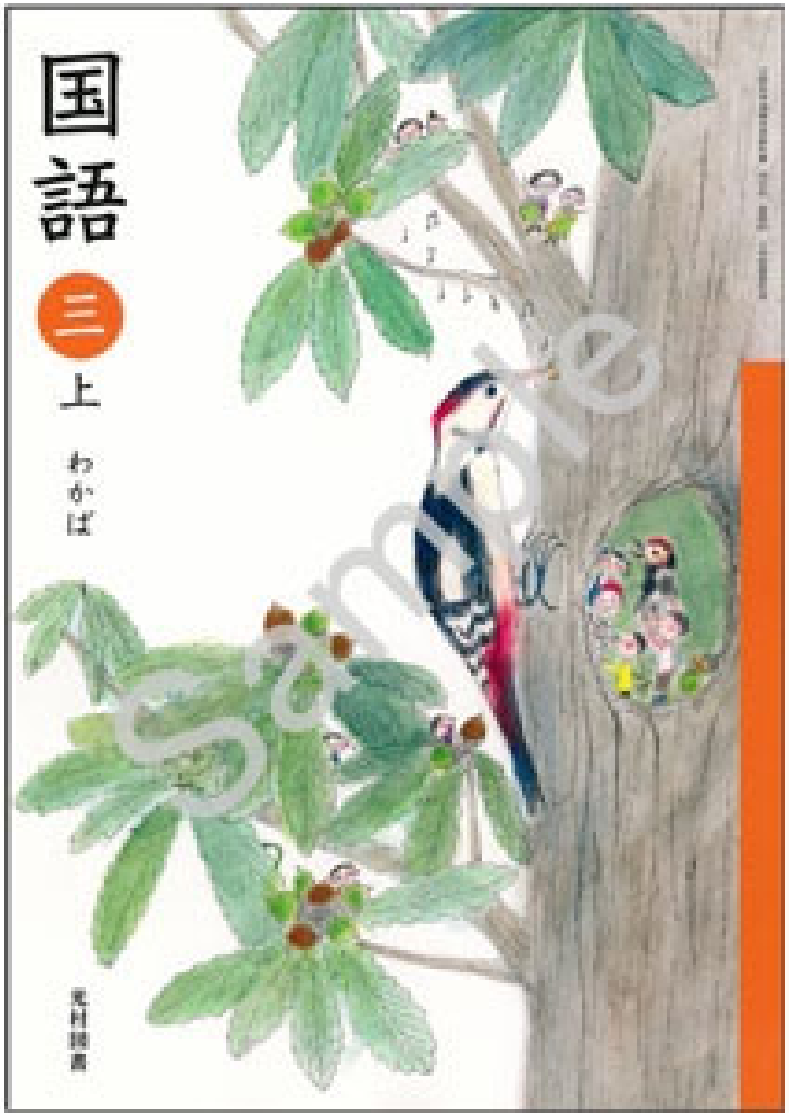
▶ローマ字で書きましょう。

tyawan densya
てんしゃ　きんぎょ

＝訓令
（ヘボン：chawan densha）

126(1)

それでも…



ローマ字

本語は，ひらがな・かたかな・漢字のほかに，アルファベッいくつかを使って，書き表すことができます。このような書し方を，ローマ字表記といいます。

■アルファベット

大文字　小文字

A a　B b　C c　D d
E e　F f　G g　H h
I i　J j　K k　L l
M m　N n　O o　P p
Q q　R r　S s　T t
U u　V v　W w　X x
Y y　Z z

※この順番は一つのれいをしめしたもので，決まりはありません。

ーマ字表記は，わたしたちの身の回りのさまざまなところでれています。

アルファベット

128(1)

ヘボン式

A上①

言葉 ローマ字

日本語は，ひらがな・かたかな・漢字のほかに，アルファベットのいくつかを使って，書き表すことができます。このような書き表し方を，ローマ字表記といいます。

■アルファベット

大文字 小文字

A a B b C c D d
E e F f G g H h
I i J j K k L l
M m N n O o P p
Q q R r S s T t
U u V v W w X x
Y y Z z

※この筆順は一つのれいをしめしたもので，決まりはありません。

ローマ字表記は，わたしたちの身の回りのさまざまなところで使われています。

アルファベット

128(1)

= ヘボン
（訓令： KAZIBASI DŌRI
Sin-Ōsaka
Higasi-Yodagawa）

例外：訓令式

<tanosiku>　<BOKUSYA>　<MATUBAYA>

外来語は“英語式”

- ランド: LAND（not: RANDO）

- パーティ会場: Party (not: pātī) kaijō

例外：仮名のまま（ヘボン）

- サンライフ：Sanraifu（vs. Sun Life）

「外来語の表記について」

ア	イ	ウ	エ	オ
カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ
タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ		ユ		ヨ
ラ	リ	ル	レ	ロ
ワ				
ン				
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ
ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ
ダ			デ	ド
バ	ビ	ブ	ベ	ボ
パ	ピ	プ	ペ	ポ
キャ		キュ		(キョ)

シャ		シュ	ショ
チャ		チュ	チョ
(ニャ)		ニュ	(ニョ)
(ヒャ)		ヒュ	(ヒョ)
(ミャ)		ミュ	(ミョ)
(リャ)		リュ	(リョ)
ギャ		ギュ	(ギョ)
ジャ		ジュ	ジョ
ビャ		ビュ	ビョ
ピャ		ピュ	ピョ
	ウィ	ウェ	ウォ
クァ			
		シェ	
	/ti/	チェ	
(ツァ)	ティ	(ツェ)	(ツォ)
ファ	フィ	フェ	フォ
グァ	/di/		
		ジェ	
	ディ	デュ	
ヴァ	ヴィ	ヴェ	ヴォ

	チ	ティ	ディ
ヘボン	chi	ti	di
訓令	ti	ti	( )

（昭和29年国語審議会表記部会報告）

小学校学習指導要領

- 「ローマ字は、表音文字であり、単音文字であるから、話しことばや書きことばに対する反省を強め、ことばの決まりについての児童の自覚を高めることができる。」
- ローマ字学習：

仮名表と実際の発音とのズレについて学ぶきっかけ

さ し す せ そ

sa shi su se so

た ち つ て と

ta chi tsu te to

さ行の「し」だけは、本当は少し音が違うんだよ

た行では、「ち」と「つ」は同じじゃないんだ。例えば、<ti>と書いたら、読みが「チ」じゃなくて、「ティッシュ」の「ティ」になるよ

昭和26年7月発行（試案　改訂版）

キーボード入力の利便性

- 訓令式が有利
  - し : si (2) vs. shi (3)
  - ち: ti (2) vs. chi (3)
  - つ: tu (2) vs. tsu (3)
- ヘボン式が有利
  - じゃ: zya (3) vs. ja (2)
  - じゅ、じょ同様
- 入力ルールの「深さ」

  例 : 三軒茶屋
  - “sangen<u>dya</u>ya” => 三軒茶屋
  - “sangen<u>ja</u>ya” => 三軒じゃや（変換不可）

長音のローマ字化

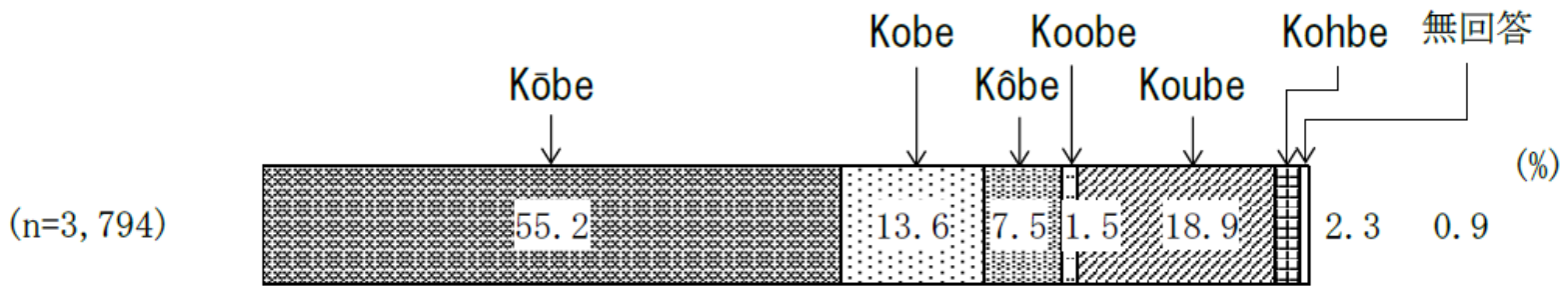
- “According to the *Kunreishiki* directive of 1973, long vowels are to be shown […] by means of a circumflex symbol, e.g. ***otôto*** ‘younger brother’, but in modern usage a macron appears to be more common (***otōto***), or – alternatively – the short vowel symbol is repeated (***otooto***). In the case of very short romanised items in isolation – e.g. names of Japanese persons or companies (e.g. **Saito** (family name) for /saitoo/), though usage can depend on the item in question. In names, one occasionally encounters the irregular romanisation *oh* for /oo/, e.g. **Saitoh**.”

Seeley, Christopher. 1991. *A History of Writing in Japan*. Leiden UP, p.205f

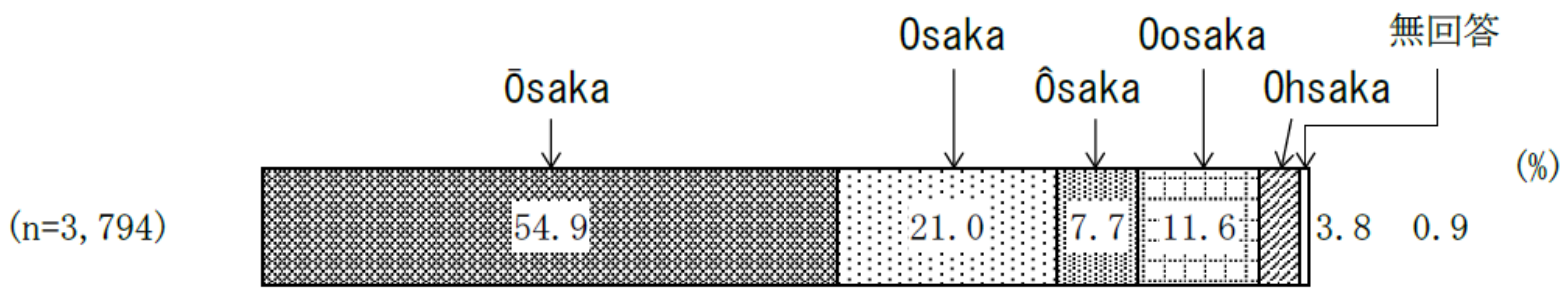
長音のローマ字化

問６　次の（１）と（２）の地名をローマ字で表す場合、ここに挙げた中ではどの書き方が読みやすいと思いますか。それぞれ一つずつ選んでください。

（１）神戸（こうべ）



（２）大阪（おおさか）



令和２年度「国語に関する世論調査」

長音のローマ字化

- マクロン（例：ō）
  + 実際の普及
  – 入力が困難
  – ee/ei, oo/ouが不透明
- やまがた（例：ô）
  –「古い」印象
  – 入力が困難
  – ee/ei, oo/ouが不透明
- 仮名のまま（例：<oo>/<ou>）
  + ee/ei, oo/ouの違いが表記可能
  + 隣接形態素が合体しない：muzukashii (not: muzukashī)
  + 入力しやすい
  – 母音クラスターが発生（女王：joou）
  – 英語の<oo>,<ou>の発音（例：you）
- 無表記（例：o）
  + 入力しやすい
  +/– 英語の<o>の発音が近い（例：Tokyo）
  – 意味の違いが不透明（例：大野vs.小野がどちらも <ono>）

長音その他

YU-NO SATO. TOKI
BOULANGERIE
PATISSERIE
YOU
Mon-Sat 7:30-21:00
Sun&Horiday 8:00-21:00
TEL:03-3999-0539

P
TOHTO
OPEN 24h

まとめ

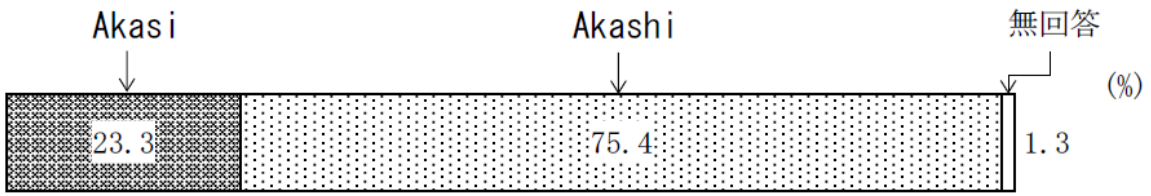
- 統一したローマ字つづりが望ましい
- 訓令式の利点
  - 深さ:（形態論上）論理的
  - ローマ字入力の利便性（キーストローク数）
- ヘボン式の利点
  - 浅さ:音素と文字が一対一
  - 新しい仮名・音素も表記可（ち＝chi、てい=ti）
  - 日本語の音韻体系について学ぶきっかけ
  - 実際の普及（一般日本人も）

ヘボン式の普及

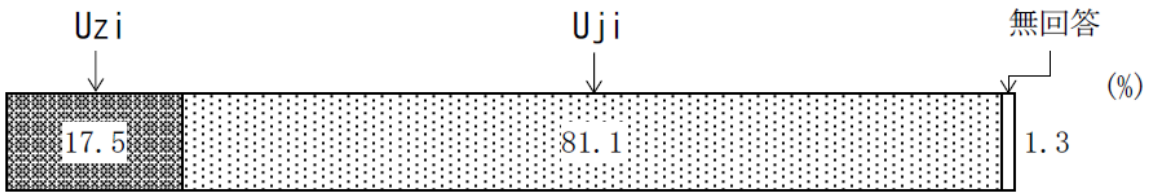
問９　次の（１）～（11）の言葉を、あなたがローマ字で書き表すとしたら、ここに挙げた中ではどの書き表し方を使いますか。それぞれ一つずつ選んでください。

(n=3,579)

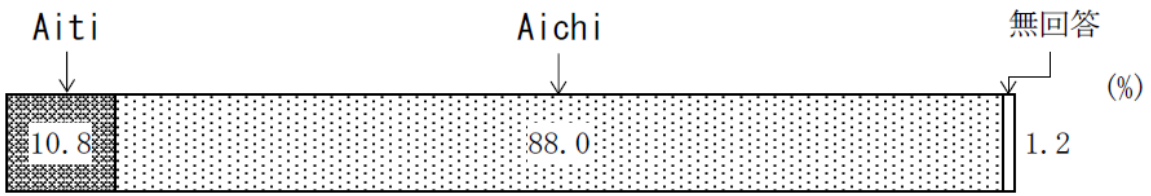
（１）明石（あかし）



（２）宇治（うじ）



（３）愛知（あいち）



令和3年度「国語に関する世論調査」